

# 平成19年3月期 中間決算・通期見通し

6807 日本航空電子工業株式会社  
社長 秋山 保孝

2006.10.25

# 目 次

**I . 2006年度中間決算**

**II . 下期・通期見通し**

**III . 主要財務指標等**

# 1. 06年度中間期決算(連結)

(単位:億円)(利益率%)

主要項目	05上期	06上期	前同比
売上高	591	676	114%
営業利益	45.8 <sub>(7.7%)</sub>	61.6 <sub>(9.1%)</sub>	135%
経常利益	40.0 <sub>(6.8%)</sub>	54.5 <sub>(8.1%)</sub>	136%
中間純利益	26.0 <sub>(4.4%)</sub>	36.3 <sub>(5.4%)</sub>	140%
設備投資	61	70	+9
FCF	15	10	-5
中間配当	4円/1株	5円/1株	

※期中平均為替レート 109.52円/\$

115.38円/\$

## 2. 事業セグメント別売上(連結)

(単位:億円)

		05上期	06上期	前同比
事業	コネクタ	445	519	117%
	システム機器	74	74	100%
	航機	64	70	111%
	その他	8	13	152%
	全社計	591	676	114%
地域	海外 (海外比率)	261 (44%)	313 (46%)	120% (+2%)
	国内	330	363	110%

### 3. コネクタ主要市場別売上(連結)

(単位:億円)

市場	05上期	06上期	前同比
情報	138	157	114%
通信	91	83	91%
民生	52	81	156%
自動車	95	116	122%
産機	44	53	121%
その他	25	29	117%
コネクタ計	445	519	117%

# 4. 航機セグメント別売上(連結)

(単位:億円)

市場	05上期	06上期	前同比
防衛・宇宙	37	30	81%
産業機器	27	40	151%
航機計	64	70	111%



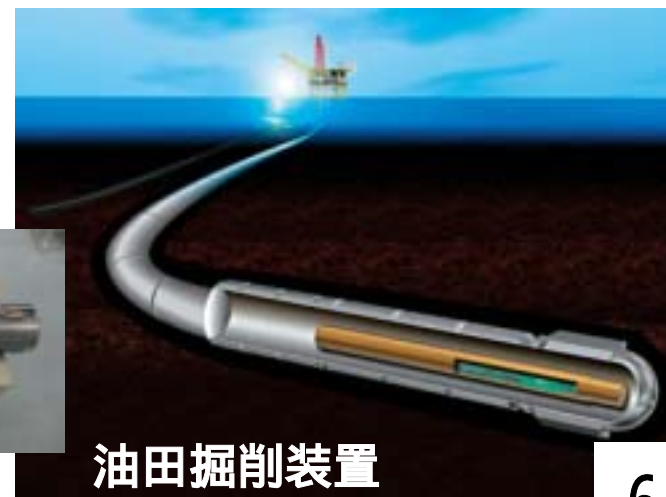
ステッパ<sup>①</sup>



免震装置  
(加速度計 + リニアモーター)



インクリメータ



油田掘削装置

# 5. 事業部門別営業利益(連結)

(単位:億円)

事業部門	05/上期 (営業利益率)	06/上期 (営業利益率)	前同比
コネクタ	65.0 (14.6%)	<b>76.9</b> (14.8%)	<b>118%</b>
システム機器	0.4 (0.6%)	<b>0.3</b> (0.4%)	67%
航機	4.2 (6.6%)	<b>6.3</b> (9.0%)	<b>150%</b>
その他	-1.6	-0.8	-
配賦不能費	-22.2	-21.1	-
全社計	45.8 (7.7%)	<b>61.6</b> (9.1%)	<b>135%</b>

# 6. TOPICS

- (1) 国内外一貫生産体制の増強
- (2) VICTORY運動のスタートと展開
- (3) 継続雇用制度の導入
- (4) コーポレートスローガン

# (1) 国内外一貫生産体制増強

## 本格操業開始



山形航空電子

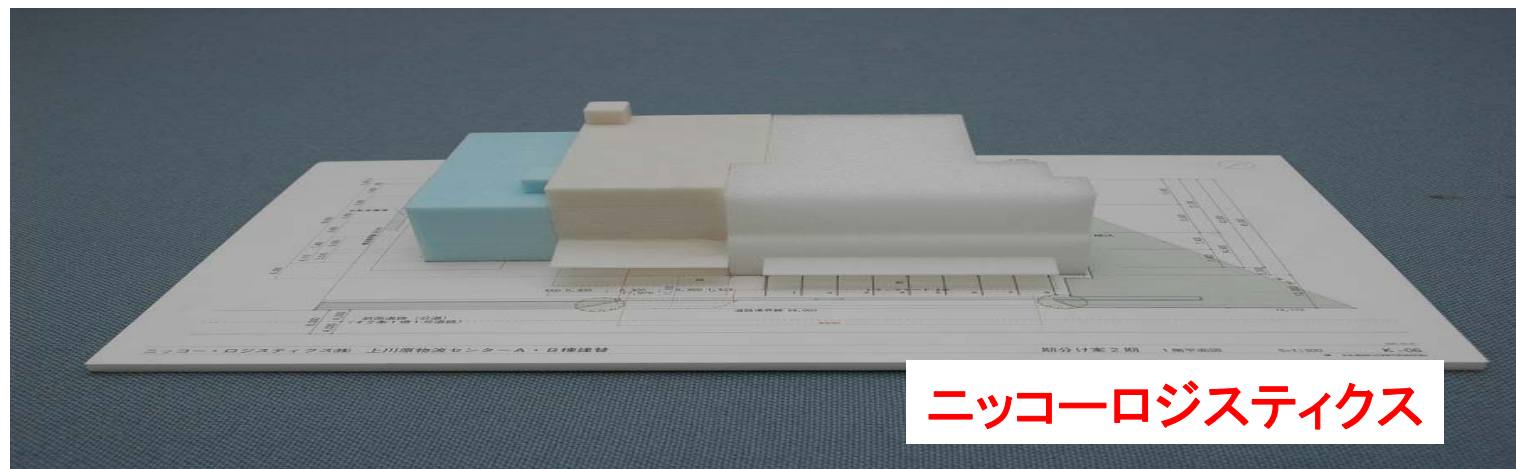
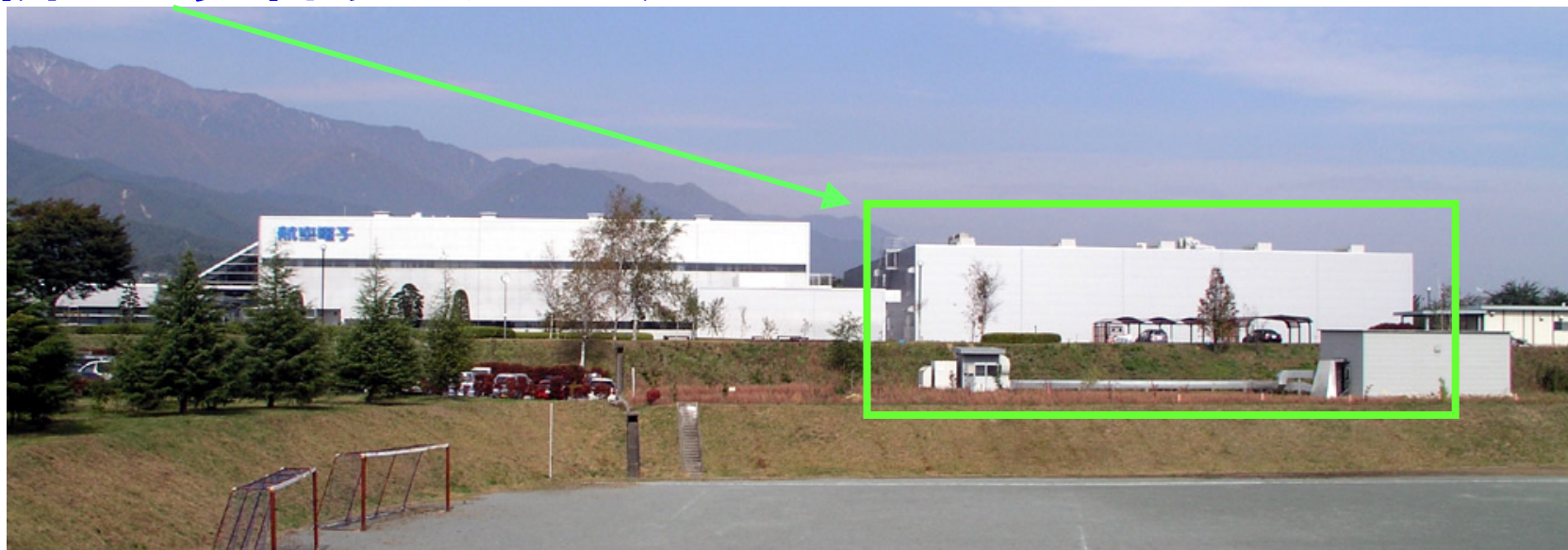


弘前航空電子



JAE-無錫

# 信州航空電子 新工場棟完成(9月)

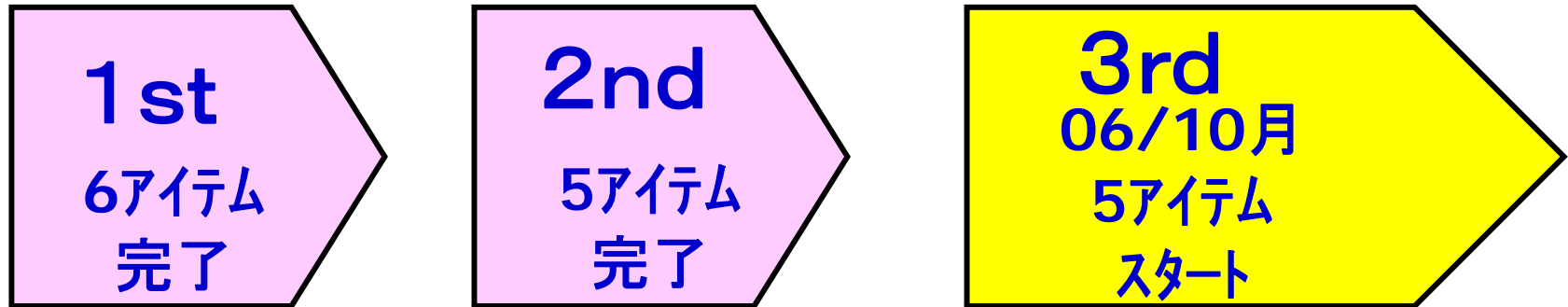


ニッコーロジスティクス

## (2) VICTORY運動

(Visit Customers Toward Refinement of Product QualityY)

**製品品質に磨きをかけるための顧客訪問**



**06/上期で11アイテム、46社完了**

## (3) 継続雇用制度の導入

高齢者雇用安定法 06年4月より施行

06年9月定年退職者より適用開始

# (4) コーポレートスローガン改定 **航空電子**

NEW

JAE Global Slogan

## Technology to Inspire Innovation

当社の開発する技術が、お客様の独創的な商品開発に、新しい扉を拓きます。

---

航空電子グループは「革新的、創造性に富んだ高い開発力、技術力を強みに、エレクトロニクス関連業界におけるグローバルTOP企業様のベストデザインパートナーを目指す」をポジションステートメントに掲げています。上記は、このポジションステートメントを踏まえ、私たちの目指す方向を表現した新しいスローガンです。

# 目 次

I . 2006年度中間決算

**II . 下期・通期見通し**

III . 主要財務指標等

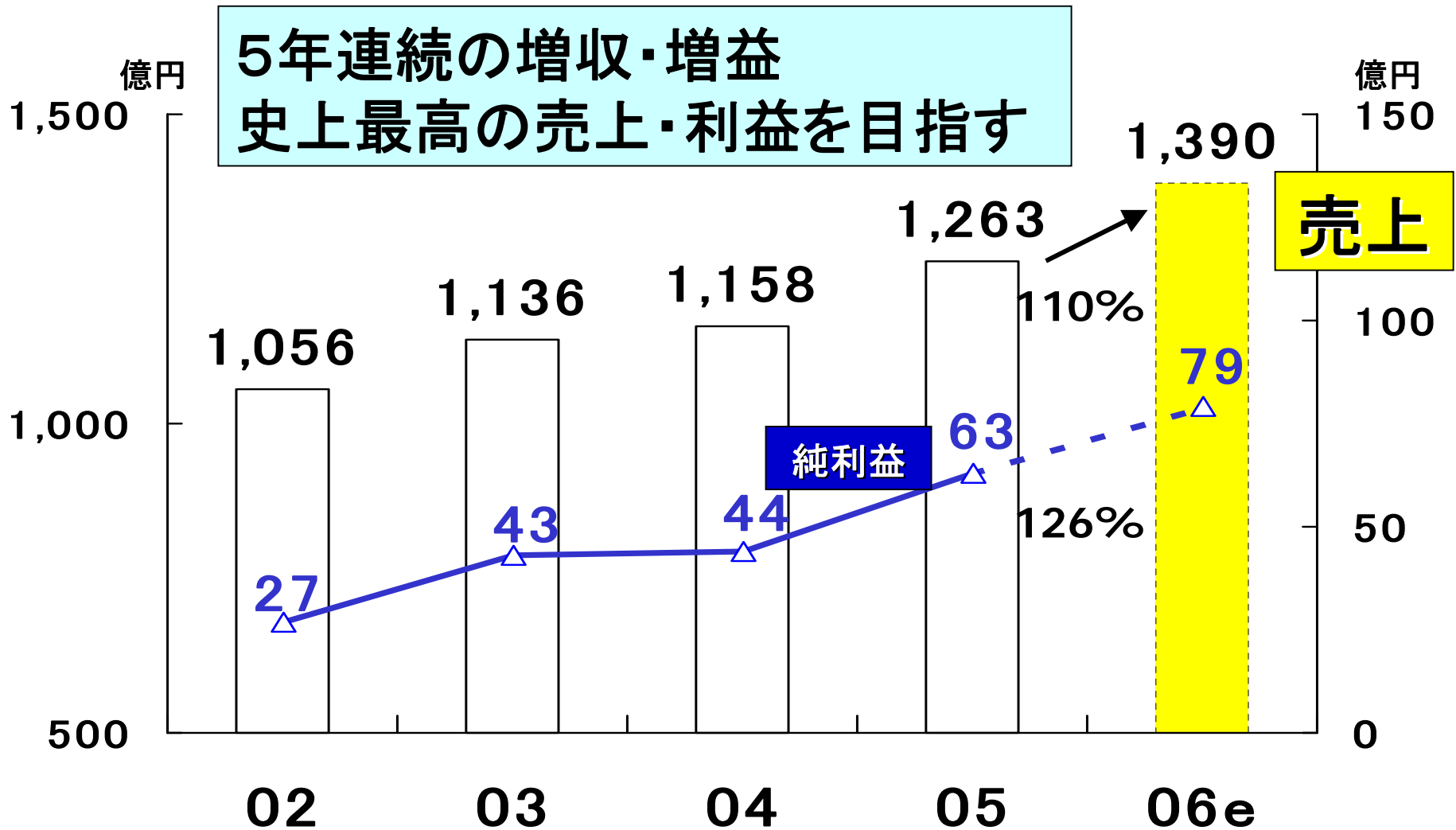
# 1. 06年度下期・通期見通し(連結)

(単位:億円)

主要項目	06下期	前同比	上期比	年度	前年比
売上高	714	106%	106%	1,390	110%
営業利益	72.4 (10.1%)	112%	118%	134.0 (9.6%)	122%
経常利益	63.5 (8.9%)	111%	117%	118.0 (8.5%)	122%
当期純利益	42.7 (6.0%)	116%	118%	79.0 (5.7%)	126%

※下期予想為替レート 110円/\$

# 1-1. 06年度通期見通し(連結)



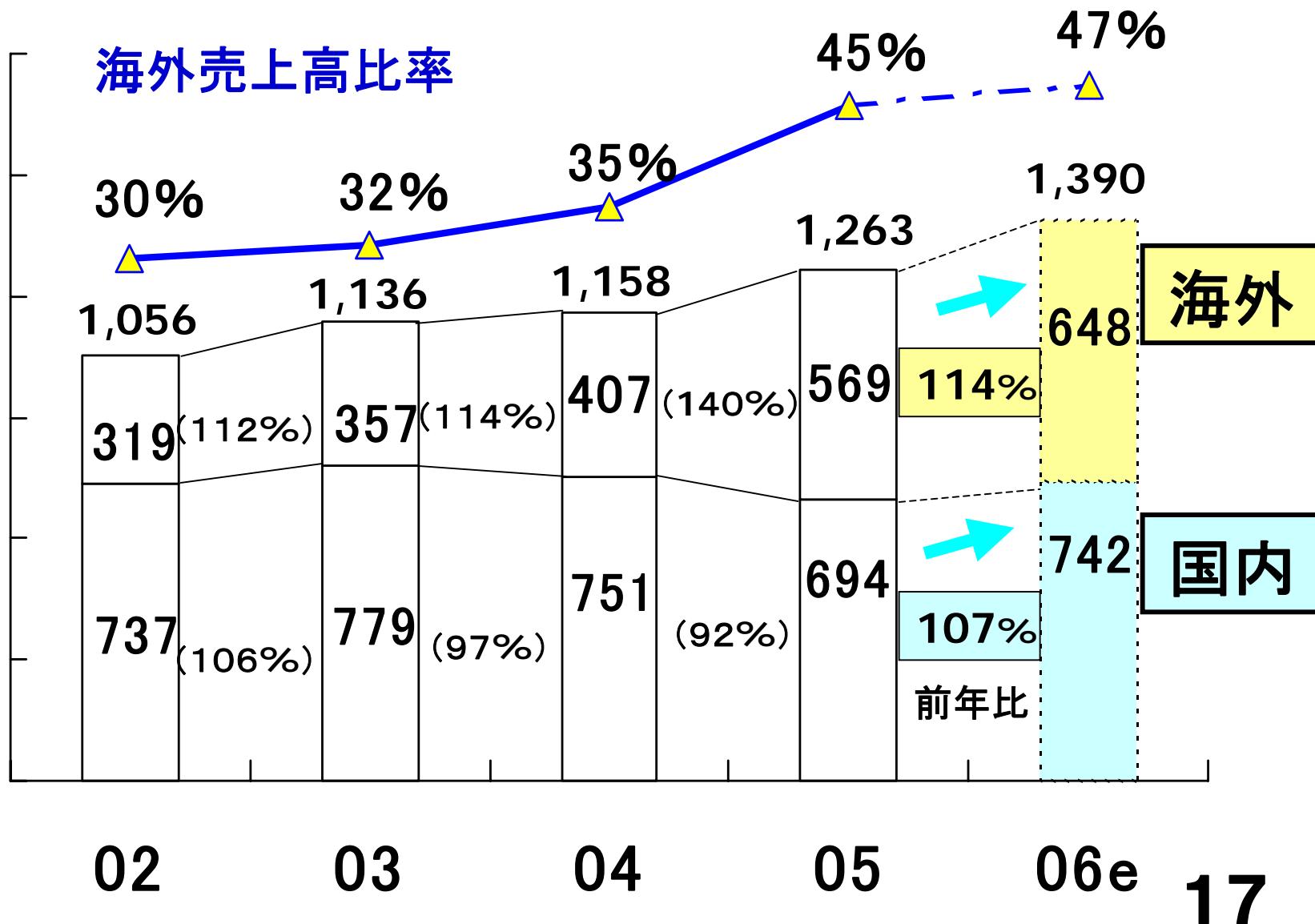
## 2. 事業別セグメント売上(連結)

(単位:億円)

事業部門	06下期	前同比	上期比	年度	前年比
コネクタ	551	106%	106%	1,070	111%
システム	79	102%	107%	153	101%
航機	72	111%	102%	142	111%
その他	12	121%	105%	25	135%
全社	714	106%	106%	1,390	110%

# 3. 地域別セグメント売上(連結)

億円



# 4. 事業部門別営業利益(連結)

(単位:億円)

事業部門	06/下 (営業利益率)	前同比	上期比	年度 (営業利益率)	前年比
コネクタ	90.1 (16.4%)	118%	117%	167.0 (15.6%)	118% (+1.0%)
システム機器	0.7 (0.9%)	67%	257%	1.0 (0.7%)	67%
航機	5.4 (7.5%)	68%	86%	11.7 (8.2%)	97%
その他	-0.4	-	-	-1.2	-
配賦不能費	-23.4	-	-	-44.5	-
全社計	72.4 (10.1%)	112%	118%	134.0 (9.6%)	122%

# 5. コネクタ市場別売上(連結)

(単位:億円)

市場	06下期	前同比	上期比	年度	前年比
情報	158	102%	101%	315	108%
通信	97	98%	117%	180	95%
民生	91	156%	112%	172	156%
自動車	124	107%	107%	240	114%
産機	53	107%	100%	106	113%
その他	28	68%	95%	57	87%
コネクタ 事業計	551	106%	106%	1,070	111%

# 5-1. 主要機器別ビッグカスタマー

ノートPC

*D社 H社 L社*  
*TW-ODM*  
N社 F社

携帯電話

*N社 S社*  
Sh社 N社 P社 T社

液晶ディスプレイ

*S社 L社 TW大手*  
Sh社

アミューズメント

Ni社 S社  
Sa社 KY社  
*Ap社*

薄型TV(液晶、PDP)

S社 P社 Sh社  
*S社 L社 Ph社*

通信ネットワーク

N社 F社

自動車

H社 T社  
*G社 V社*

産業機器

Fa社 Ad社 Yg社

*斜字:海外*

# 5-2. 強い玉だしと水平展開

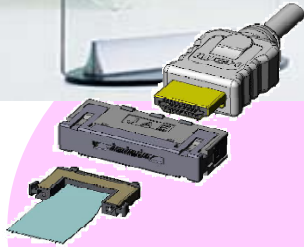
**HDMI**  
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE



FA7 (PDP用)

SPWG/PSWG規格 I/O

デジタルTV・DVD



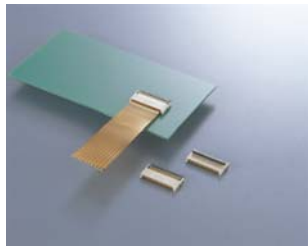
細線同軸



小型細線同軸

携帯電話・モバイル

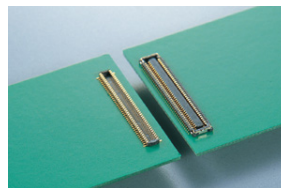
小型FPC



超小型  
メモリーカード



小型BtoB



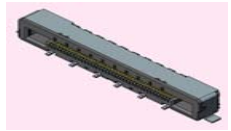
**強み**

**高速信号対応**

**小型・薄型化**



高精細・大型液晶パネル

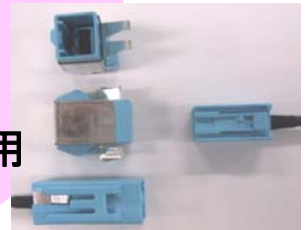


高速伝送用

車載情報通信用

アンテナ同軸用

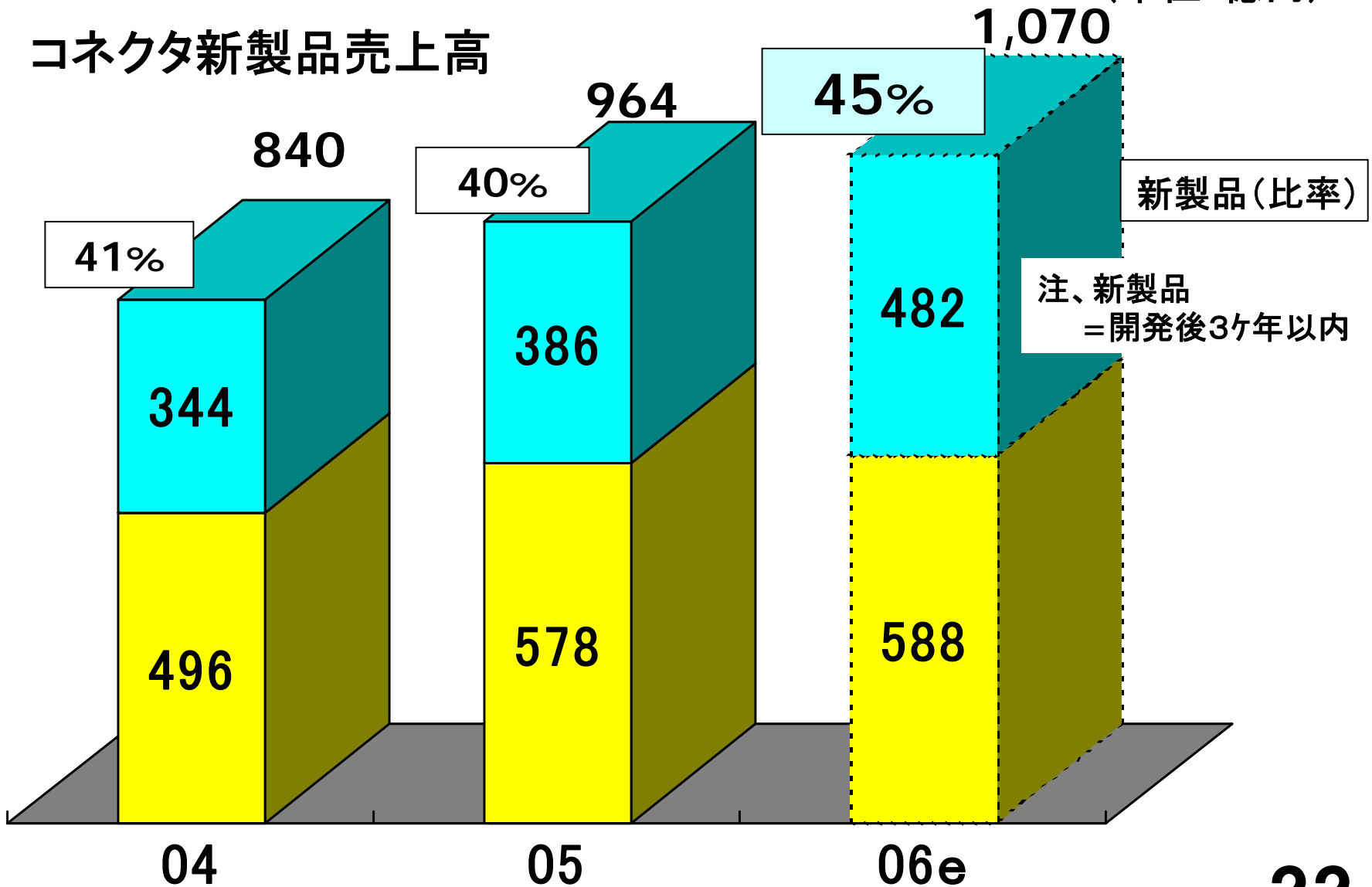
カーエレクトロニクス



# 5-3. 新製品売上高比率 45%へ

(単位:億円)

コネクタ新製品売上高



# 目 次

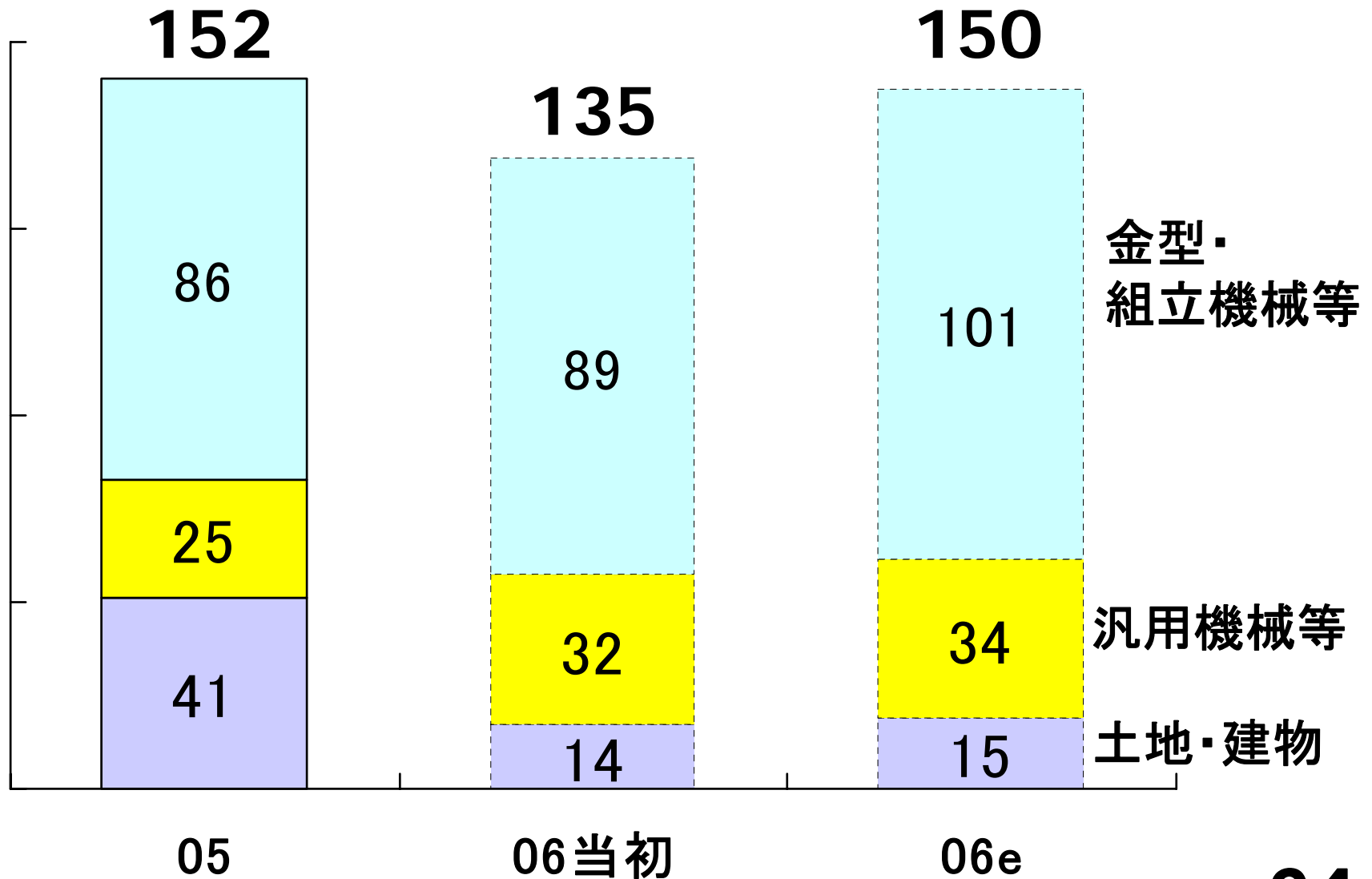
I. 2006年度中間決算

II. 下期・通期見通し

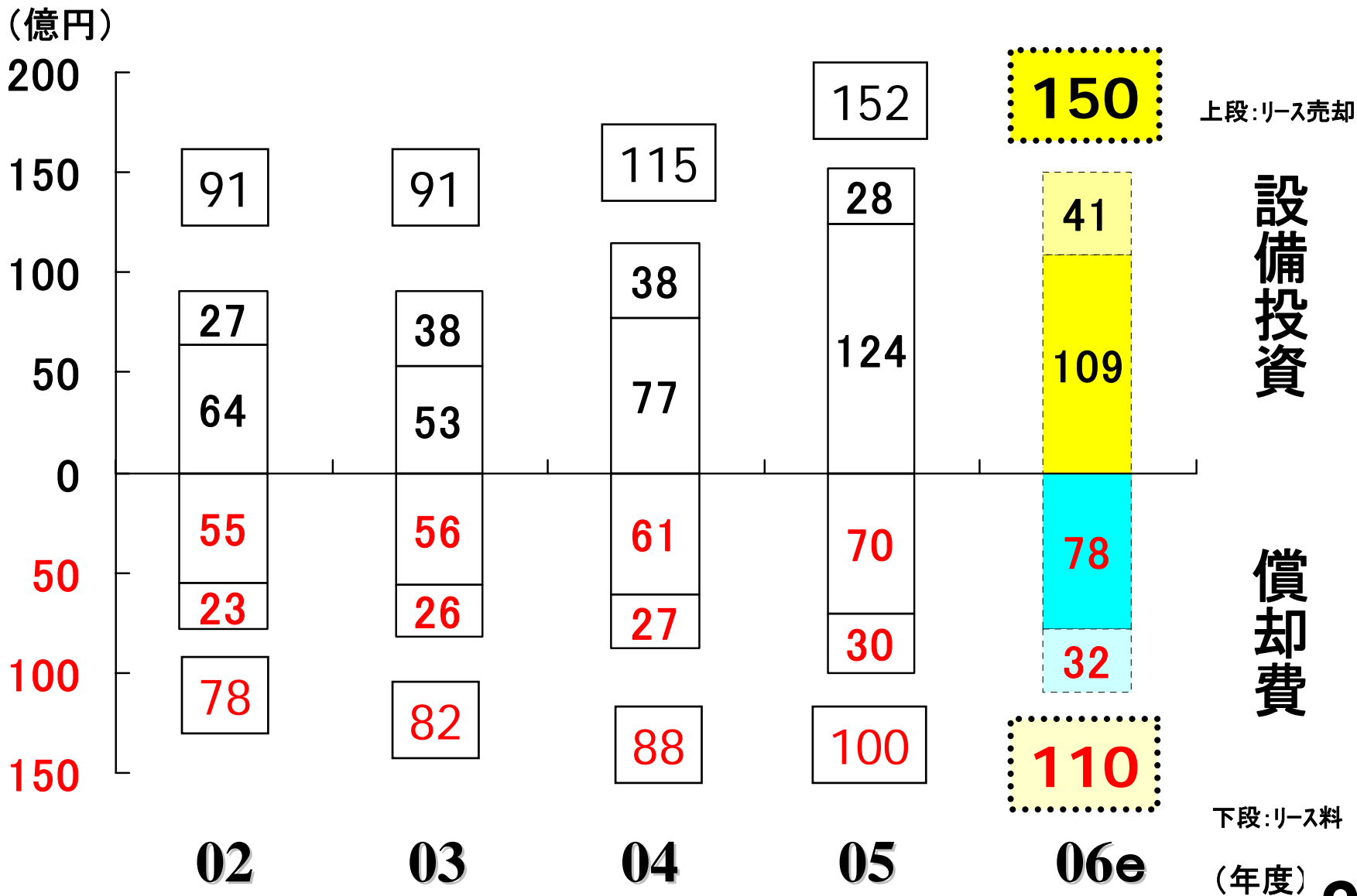
**III. 主要財務指標等**

# 1. 積極的な設備投資継続

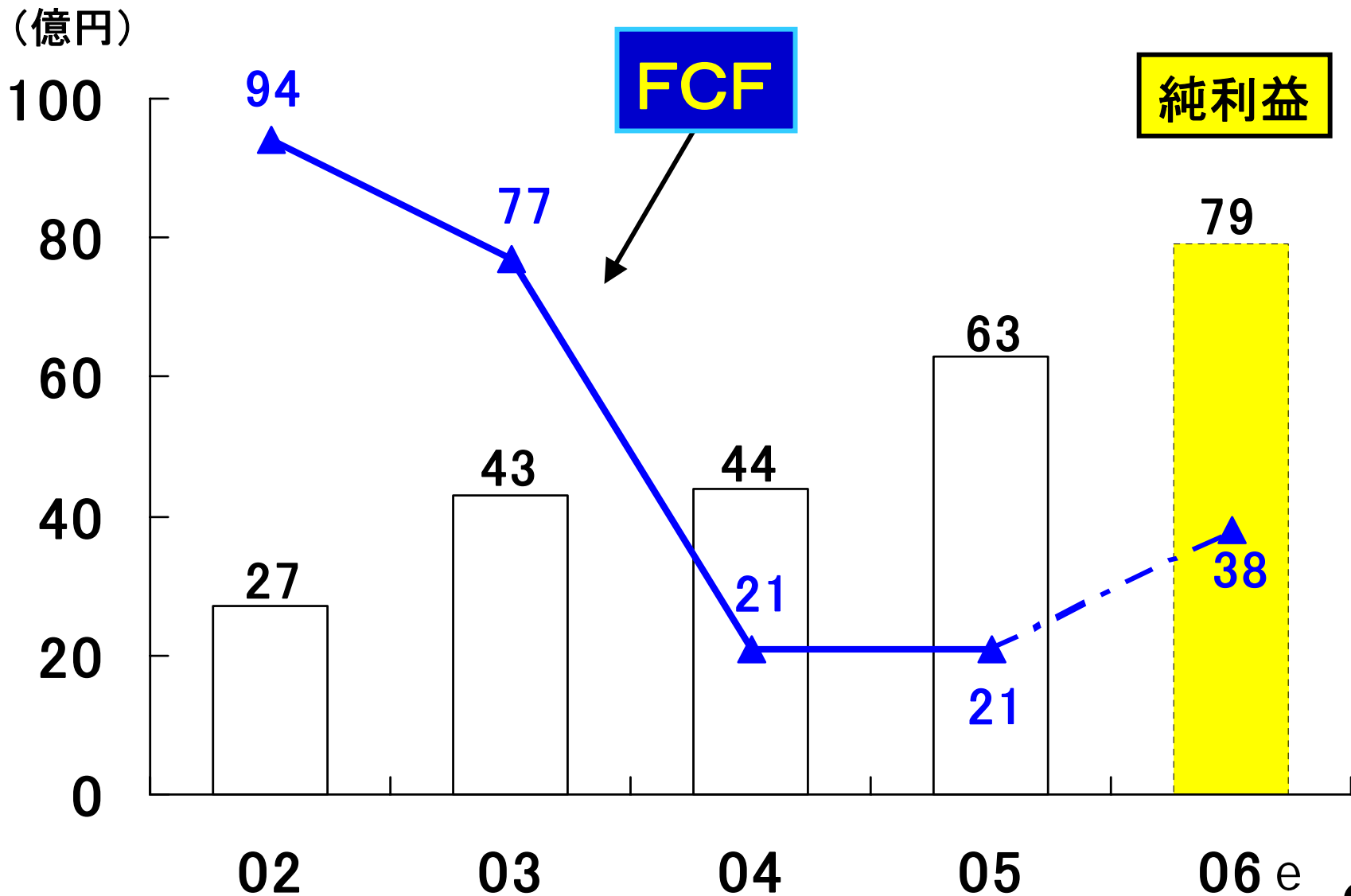
(単位:億円)



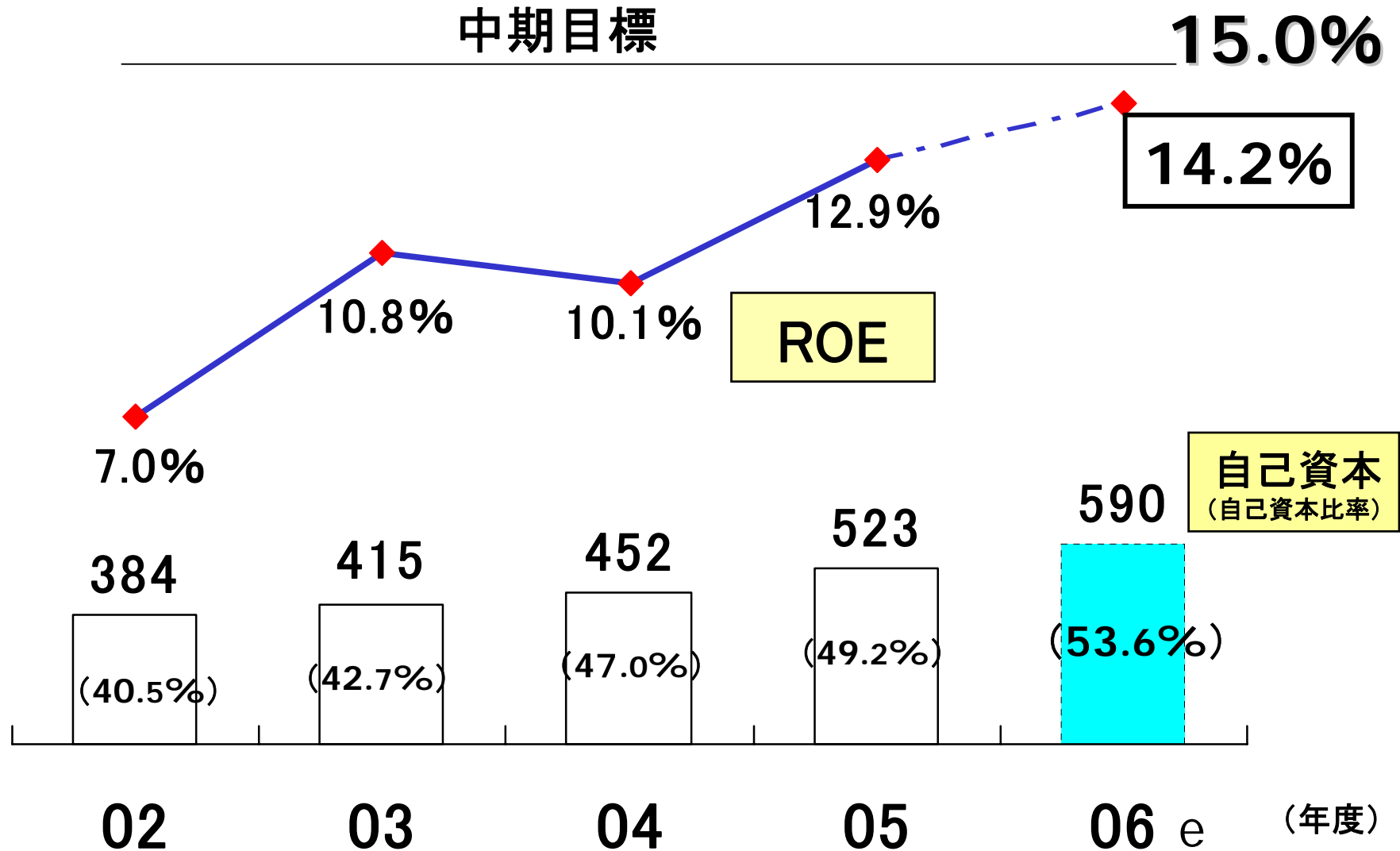
# 1-1. 設備投資・減価償却費(連結)



# 2. フリーキャッシュフロー(連結)



# 3. ROE(連結)



# Technology to Inspire Innovation

ご静聴、ありがとうございました。

**航空電子**

#### <注意事項>

本資料に記載されている当社および連結子会社(以下JAEと総称します)の計画, 戦略および業績見通し・目標は2006年10月25日現在の予測・目標であって, リスクや不確定な要素を含んでおります。

本資料に記載されている目標は予想ではなく, 将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ, 経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績は, 様々な要因により, 見通し・目標等と大きく異なる結果となりうることを予めご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としてはJAEの事業領域を取り巻く日本・欧米・アジア等の政治・経済情勢, 市場におけるJAE製品(ソフト製品を含む)に対する需要変動, 競争激化による価格下落圧力, および競合各社に打克ち供給し続ける能力, 海外市場における事業拡大能力, 事業活動に関する法規の変更やその不透明さ, 潜在的な法的責任, 為替レートなどがありますが, これら以外にも様々な要因が有り得ます。世界経済の悪化, 世界の金融情勢の悪化, 国内外の株式市場の低迷などにより, 実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。将来予測に関する記述は, その日現在のものであることをご承知おきください。

新たなリスクや不確定要因は随時発生することが明らかですが, その発生や影響を予測することは不可能であります。また, リスクや不確定要因がある為, 将来予測に関して記述されている内容が実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することの無きようお願いいたします。